

衆議院決算行政監視委員会ニュース

平成 21.6.10 第 171 回国会第 5 号

6 月 10 日（水）第 5 回の委員会が開かれました。

- 1 平成 19 年度一般会計歳入歳出決算
平成 19 年度特別会計歳入歳出決算
平成 19 年度国税収納金整理資金受払計算書
平成 19 年度政府関係機関決算書
平成 19 年度国有財産増減及び現在額総計算書
平成 19 年度国有財産無償貸付状況総計算書
- ・重点事項審査を行い、行財政の適正・効率化について、鳩山総務大臣、与謝野財務大臣・経済財政政策担当大臣、金子国土交通大臣、浜田防衛大臣、河村国務大臣（内閣官房長官）、竹下財務副大臣、柴山外務大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。
 - ・全般的審査を行い、鳩山総務大臣・地方分権改革担当大臣、森法務大臣、与謝野財務大臣、金子国土交通大臣、河村国務大臣（内閣官房長官）、大村厚生労働副大臣、金子国土交通副大臣及び政府参考人並びに参考人に対し質疑を行いました。
- （参考人）日本銀行総裁 白川 方明君

（重点事項審査）

（質疑者及び主な質疑内容）

宮 下 一 郎君（自民）

- ・骨太 2006 以来の行財政改革の成果と骨太 2009 の素案で示される財政健全化に関する新たな目標の考え方について経済財政政策担当大臣に伺いたい。
- ・民主党の主張するような財源の捻出が可能かどうかについて、政府の認識を伺いたい。
- ・景気回復と財政再建のための平成 22 年度予算編成に対する財務大臣の決意を伺いたい。

福 島 豊君（公明）

- ・現在の財政悪化要因を国民にきちんと説明すべきと思うが、財務大臣の所見を伺いたい。
- ・骨太 2009 の素案にある「5 年を待たずに国・地方のプライマリー・バランス赤字の対 GDP 比を少なくとも半減」をどのように達成するのか、経済財政政策担当大臣に伺いたい。
- ・予算編成のプロセスを改革すべきと考えるが、財務大臣の所見を伺いたい。

寺 田 学君（民主）

- ・政府保有株式に基づき株主総会において国が議決権を行使する際の基本方針は何か。また、決議する事項について

て過去に国が反対をした例はあるのか。

- ・日本郵政株式会社の取締役選任の認可権限は誰にあり、取締役選任において総務大臣の考え方と財務大臣の考え方が異なることはあり得るのか。また、総務大臣は内閣総理大臣の指揮に服することになるのか。

平 岡 秀 夫君（民主）

- ・国土交通省発注の車両管理業務談合事案について、公正取引委員会及び国土交通省の調査状況はどのようになっているか。特に、国土交通省職員の関与についてどのように調査が行われているのか。
- ・在日米軍の再編に関し、我が国の恒久的な基地提供について幅広い観点から見直すべきではないか。また、弾道ミサイル防衛システムは必要か、費用と効果をどのように見込んでいるか。
- ・平成 21 年度補正予算において他の機関に基金を造成させていることは、財政法第 44 条の立法趣旨に反するのではないか。

(全般的審査)
(質疑者及び主な質疑内容)

渡部 篤君(自民)

- ・景気の回復、社会・コミュニティの再建を図るため、今回の補正予算に引き続き来年度以降も積極的な財政出動を行うべきであると考え、財務大臣の所見を伺いたい。

福島 豊君(公明)

- ・国の出先機関が入る地方合同庁舎の整備に係る国土交通省の契約締結状況を説明されたい。また、地方分権改革推進委員会が見合わせを要請したにもかかわらず、地方合同庁舎の建設を続行する理由は何か。
- ・大型コンテナトラックの転倒事故の再発防止に向けた取組について、金子国土交通副大臣の決意を伺いたい。

津村 啓介君(民主)

- ・日本銀行は6月の景気判断についてどのように考えているのか。前回に比較して上方修正するのであれば、その根拠を明確に示されたい。
- ・最高裁判所裁判官の国民審査についても、衆議院議員総選挙と同様に、告示日の翌日から期日前投票を実施できるようにするべきではないか。

- ・皇位継承に関する皇室典範の改正について、今後どのような枠組みで検討していくのか。

松本 大輔君(民主)

- ・地方分権改革推進委員会が国の出先機関が入る庁舎の建設凍結要請を行っているにもかかわらず、計画が進捗している理由は何か。
- ・広島少年院における在院者への不適正処遇は事実か。また、被害者救済及び再発防止に向けた法務大臣の決意を伺いたい。
- ・原爆症認定訴訟の全面解決及び原爆症認定の待機者の早期解消に向けた内閣官房長官及び厚生労働副大臣の決意を伺いたい。

鈴木 宗男君(国民)

- ・足利市で起きた幼女殺害事件(いわゆる足利事件)の受刑者の刑の執行を停止し釈放を決定したことについての法務大臣の見解及び決定に至った経緯を伺いたい。
- ・取調の可視化の必要性について法務大臣の見解を伺いたい。

2 川端委員長から、中央省庁の補助金等交付状況、事業発注状況に関する予備的調査(長妻昭君外111名提出、平成20年衆予調第7号)について、今10日、調査局長から報告書(第2次)が提出された旨の報告がありました。